

新所長を迎え、新体制でこれからも安全運転に努めてまいります

東通原子力発電所長を務めてまいりました渡部孝男が6月26日付で女川原子力発電所長として転出し、後任として前火力原子力本部原子力部部長の津幡俊(つばた しゅん)が発電所長として着任いたしました。新旧所長より一言ご挨拶申し上げます。



がっちり握手を交わす、渡部前所長(左)と津幡新所長(右)



プロフィール
氏名: 津幡 俊 / つばた しゅん
出身地: 青森市
略歴: 昭和52年入社。火力原子力本部原子力部部長を経て、平成21年6月東通原子力発電所長に就任。
趣味: ジョギング・スキー

津幡新所長より

所長に就任いたしました津幡でございます。東通原子力発電所は平成17年12月の営業運転開始から現在に至るまで、安全運転を継続しております。これも、東通村の皆さまからいただいているご支援の賜物であると心より御礼申し上げます。

渡部前所長をはじめ諸先輩方が築き上げてきた信頼を揺るがすことなく、これからも地域の皆さまから愛される発電所を目指してまいりますので、より一層のご指導・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



渡部前所長より

2年間という短い期間ではございましたが、東通村の皆さまには公私にわたり大変お世話になりました。在任中は、東通村の皆さまからのあたたかいご支援・ご協力に支えられながら、安全・安定運転を継続することができました。

今後は宮城県牡鹿郡女川町にある女川原子力発電所に勤務することとなりますが、東通で得た経験を大切に、微力ながら頑張っておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

このたびの人事異動に伴い、23名が転出し25名が新たに東通原子力発電所の一員に加わりました。これからも安全を最優先に、そして皆さまから信頼される発電所を目指し、津幡新所長をはじめ所員一丸となって取り組んでまいります。

発電所トピックス1

顔の見える発電所を目指して！ 所員全員で皆さまのお宅を訪問しました

東通原子力発電所では6月9日(火)から6月24日(水)にかけて、東通村にお住まいの皆さまのお宅を一軒一軒お伺いする訪問活動を実施しました。この活動は建設準備本部時代から行っているもので、東通村内の皆さまと直接お会いし、発電所の状況報告や皆さまからの貴重なご意見・ご要望をお聞かせいただく貴重な機会となっています。



今回の『しおさい』では大和地区を特集

今回、広報誌『しおさい』の最新号をお届けしながら訪問しました。地域の皆さまより「営業運転開始からトラブルなく運転を続けていて、素晴らしいと思う」「これからも安全運転を継続して欲しい」「応援しています。頑張ってください」などのお言葉をいただきました。

これからも地域の皆さまとのふれあいを大切にし、東通村とともに歩んでまいります。

発電所トピックス2

発電電力量300億kWhを達成しました

東通原子力発電所1号機は、6月18日(木)に平成17年3月の試運転以降の発電電力量が300億kWhを達成することができました。この発電量は、青森県で使用される電気の約3.5年分に相当します。

これからも、東通原子力発電所では安全・安定運転を継続し、皆さまに安心して電気をお使いいただけるよう努めてまいります。



発電所トピックス3

『風舞翔吹(かさまいしょうぶ)』新たな舞に挑む！

例年、東通村で行われる「ひがしどおりよさこい来さまい祭り」に、今年も当発電所所員や関連企業の方々と構成するよさこいチーム『風舞翔吹(かさまいしょうぶ)』が参加します。今年は祭りに参加して10年目となる節目の年であることから、踊りを一新し日々練習に励んでいます。祭り当日は皆さまに躍動感あふれるエネルギッシュな舞を披露します。楽しみにしてください。



パートごとに踊りを確認するメンバー